



衛生だより



夏季休暇期間における衛生管理の強化について

夏季休暇を迎え、国内外旅行者が増加することにより、人や物の往来が一層激しくなることが予想されます。

日本への航路がある韓国釜山で野生イノシシのアフリカ豚熱感染事例が多数確認されていることに加え、近隣諸国では、口蹄疫の発生が続いているなど、日本への家畜伝染病の侵入リスクは依然として高い状況です。

家畜伝染病の病原体侵入防止のため、防疫対策の徹底をお願いします。

伝染病の侵入・まん延を防ぐために

- ✓ 農場への部外者立入禁止
- ✓ 来場者の記録と保管
- ✓ 農場に出入りする車両の消毒
- ✓ 手指、長靴などの物品の洗浄、消毒（消毒後の再汚染防止）
 - ※ 消毒薬は適切な濃度で使用
 - ※ 踏込消毒槽は最低1日1回以上交換
- ✓ 畜舎専用の衣服及び長靴の着用
- ✓ 野生動物の侵入防止、ねずみ・害虫の駆除
- ✓ 防護柵・防鳥ネットの設置、畜舎壁・天井の破損の点検
- ✓ 毎日の健康観察、異常家畜を発見した場合の早期通報
- ✓ アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への渡航自粛
- ✓ 肉製品など畜産物の持ち込み禁止
 - ※ 特に外国人技能実習生を受け入れている場合は注意！



～～～台風・大雨被害に備えましょう～～～

- ・発電機や排水ポンプ等の準備
- ・飼料や燃料の在庫は、1週間分以上の量を保有しておく
- ・飲用水の貯留タンク設置
- ・被災時の対応、緊急連絡先を確認しておくなど



北部家畜保健衛生所 Tel.0478-54-1291 Fax.0478-54-5996

夜間・休日は転送されます、必ず**5回以上コール**してください



口蹄疫の症状



疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、**泡状のよだれ**を流したり、**口、鼻、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

～豚の症状～

写真：宮崎県提供



＜口蹄疫ウイルスの感染実験の結果＞

写真：動物衛生研究部門提供



多数の水疱病変

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に**連絡**しましょう。

1頭のみに着目せず、複数の豚で歩き方がおかしい、上記の症状が急速に広がるなど、**群としての異状の有無を確認することが重要**です。

配合飼料タンクの安全点検を！！

- ✓ 配合飼料タンクを支える支柱、上がるためのはしご等の腐食、不具合がないか
- ✓ 配合飼料タンクの傾きがないか
- ✓ はしごの昇降がスムーズに行えるよう、タンク周辺の除草等周辺環境を整備しているか



暑熱対策について



- ・遮光ネット や よしず による日よけ
- ・屋根への断熱材設置、石灰乳塗布、スプリンクラーの設置
- ・換気扇、扇風機による送風、畜体への散水
- ・密飼いを避ける
- ・清潔で冷たい飲用水、良質で消化率の高い飼料、ビタミン・ミネラルの補給

